

# 伸ばそう ICT メディアリテラシー教材用 インターネット補助教材セットアップについて (Windows 用の解説を中心に)

本書で説明する「伸ばそう ICT メディアリテラシー教材用 インターネット補助教材」は、平成 18 年度総務省事業として開発されました。

本書では、XAMPP for Windows を利用してインターネット補助教材を利用する方法を中心に説明します。

## 1. 教材の利用に関するお問い合わせは…

(平成 23 年度 ICT メディアリテラシー運用受託)  
株式会社インフォザイン ICT メディアリテラシー事務局  
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-1 湯島三友ビル 3 階  
TEL : 03-3553-0970  
MAIL : info@ict-media.net

## 2. ソフトウェア 稼動環境について

インターネット補助教材は、下記のソフトウェアを使用することを前提として設計しております。

### 【サーバ】

Web サーバ : Apache 2.0 以上  
データベース : MySQL 5.0 以上  
ミドルウェア : PHP 5.0 以上 (gd モジュール、mysql モジュールが必要です)  
文字コード : UTF-8

### 【クライアント】

Web ブラウザ  
Internet Explorer 6以降  
Firefox  
Safari  
Adobe Flash Player  
画面解像度 1024×768ドット以上

このソフトウェアが稼動すれば、OS の種類は問いません。

- Unix 系  
Redhat Linux、Turbo Linux、Cent Os、Fedora Core、VineLinux4、MacOS X など
- Windows 系  
Windows Server 2003 (Windows XP/Vista などでは使用制限あり)

**【注意1】**WindowsXPでも動作しますが、クライアントOSのため、ライセンス上同時に10台の端末以下しか利用できません。

**【注意2】**PHP4系では動作しません。従って、RedHat Enterprise Linux3用にRedHat Networkで提供されているPHPのrpmパッケージでは動作しません。

**【注意3】**MacOS Xでも動作するはずですが、実験はしていません。

### 3. サーバ用ソフトウェアのインストールについて

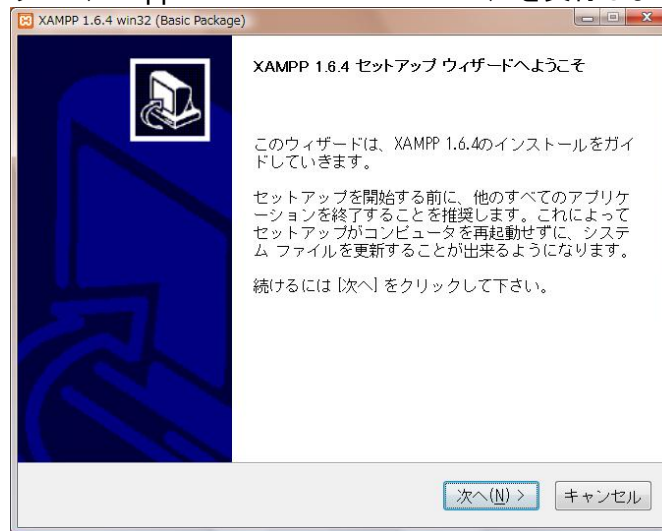
2 節で説明したサーバ用ソフトウェアは、XAMPP を利用するのが便利です。以下の URL を参考にしてください。

- Apache Friends  
<http://www.apachefriends.org/jp/>

上記のサイトから、Windows 用、Linux 用、MacOS X 用の XAMPP がダウンロードできます。またインストール方法と起動方法も記述されています。

以下に、XAMPP for Windows のインストール方法を簡単に説明します。説明で使用している画面は「XAMPP for Windows 1.6.4」です。

#### 3-1. セットアッププログラム (xampp-win32-1.6.4-installer.exe) を実行します。



#### 3-2. インストール先フォルダを指定します。「次へ」ボタンをクリックします。

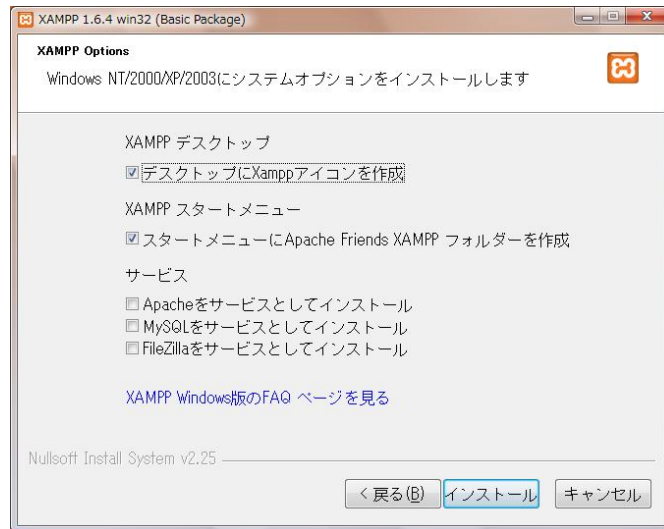
##### 【注意】

Windows Vista では「Program Files」に制限がかかっていますので、XAMPP 標準の C:\xampp ディレクトリにインストールすることをお勧めします。

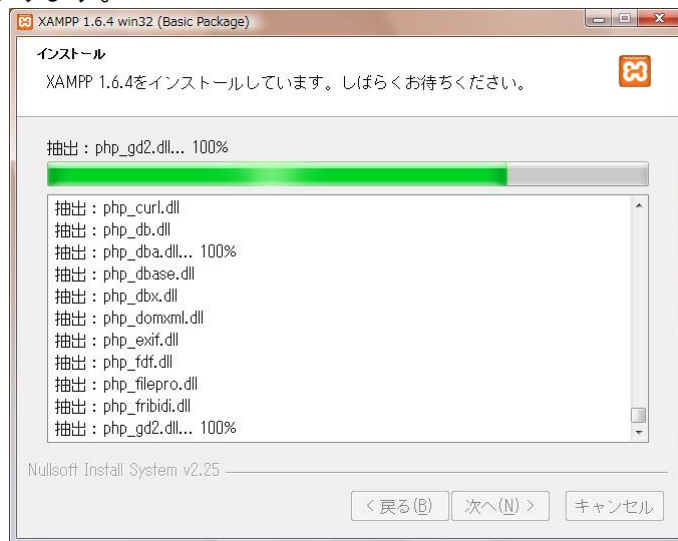


#### 3-3. システムオプションのインストール方法を指定します。

デフォルト設定のままインストールすることをお勧めします。「インストール」ボタンをクリックします。



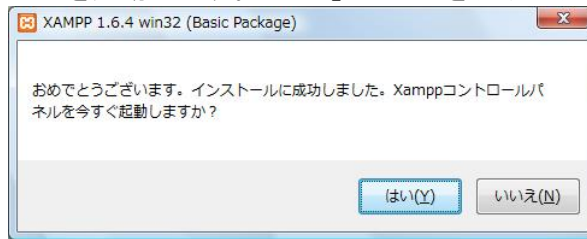
3-4. インストールが始まります。



3-5. コピーが終わると下のウィンドウが表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。



3-6. Xampp コントロールパネルを起動します。「はい」 ボタンをクリックしてください。

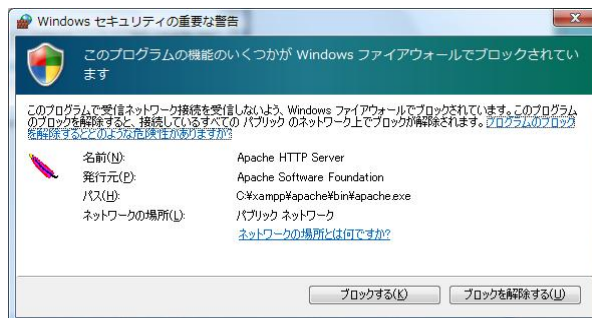


3-7. Apache と MySQL を開始します。

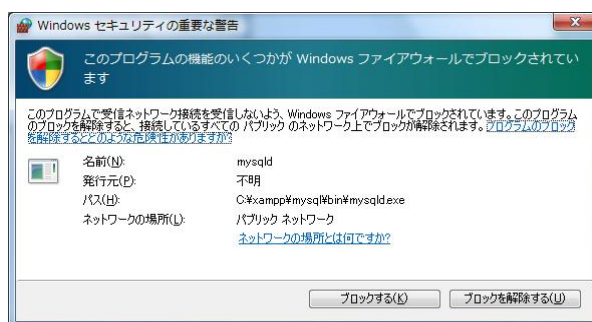
Apache と MySQL の右の「開始」ボタンをクリックすると、セキュリティの警告画面が表示されます。どちらも「ブロックを解除する」ボタンをクリックしてください。正常に起動すると、下のコントロールパネルの画面になります。



Apache の警告画面



MySQL の警告画面



## 4. MySQL の管理者パスワードを設定する

XAMPP for Windows では、MySQL の管理者ユーザ(root) にパスワードが設定されていません。

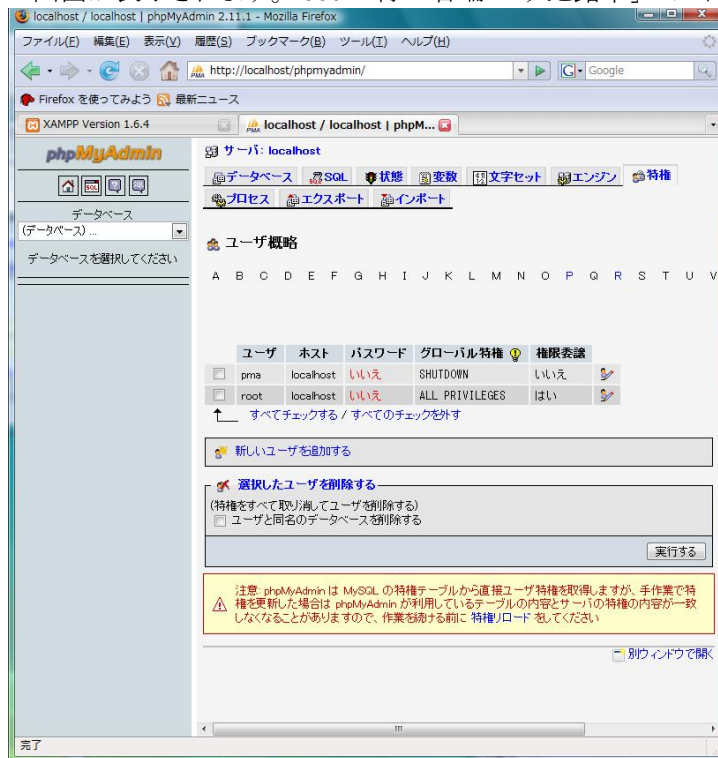
非常に危険な状態ですので、phpMyAdmin でパスワードを設定してください。

レンタルサーバの場合は、レンタル会社が管理ユーザの ID とパスワードを指定している場合があります。この場合は、その ID とパスワードを使用しますので、この節を飛ばして次の「PHP の設定を変更する」に進んでください。

#### 4-1. ブラウザで phpMyAdmin を呼び出す。

http://localhost/phpmyadmin/ もしくは http://127.0.0.1/phpmyadmin/ を指定します。

「特権」を指定すると、下の画面が表示されます。root の行の右端の「人と鉛筆」のアイコンをクリックします。

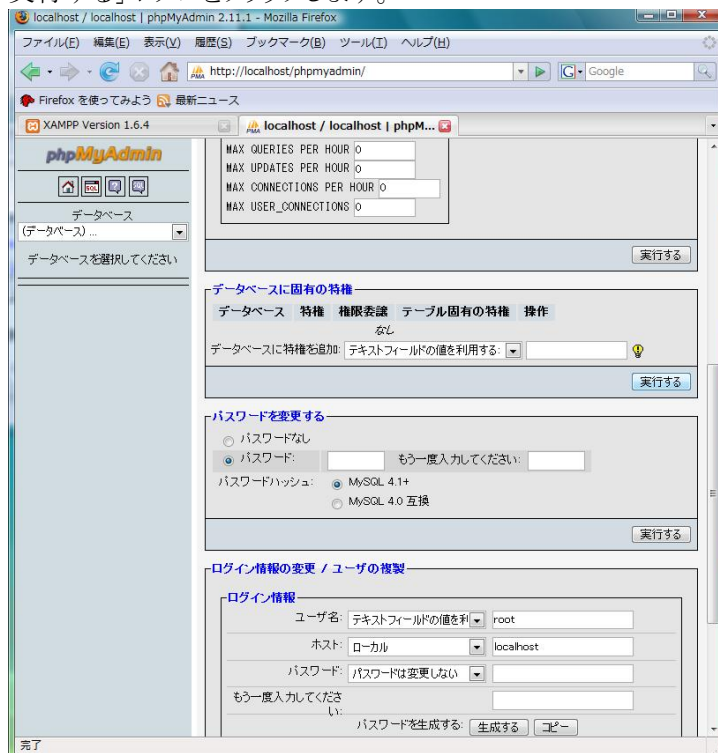


#### 4-2. パスワードを変更する。

「パスワードを変更する」という囲みの中の「パスワード」ラジオボタンを選択し、パスワードを 2 箇所のフィールドに記入します。

以下の例では「testpassword」というパスワードを設定したと仮定しています。パスワードを例のとおりを設定する必要はありませんが、設定したパスワードは忘れないようにしてください。

入力したら、その枠の「実行する」ボタンをクリックします。



#### 4-3. 変更されたことを確認する。

変更が完了したら、下の画面のように「root@localhost のパスワードは正しく変更されました」と表示されます。



#### 4-4. phpMyAdmin の設定ファイルを修正する

パスワードを設定すると、そのままでは phpMyAdmin が使用できなくなります。phpMyAdmin の設定ファイルに、上記で設定したパスワードを記述してください。

新しいパスワードを記述する設定ファイルは、

(XAMPP インストールディレクトリ)/phpMyAdmin/config.inc.php

です。XAMPP for Windows の標準インストールでは「C:\xampp\phpMyAdmin\config.inc.php」です。

このファイルの 73 行目あたりにある

```
$cfg['Servers'][$i]['password'] = ''; //MySQL Password (only needed
```

にパスワードを記述してください。

##### 【例】

```
$cfg['Servers'][$i]['password'] = 'testpassword'; //MySQL Password (only needed
```

修正が終わったら、phpMyAdmin を表示しているブラウザをリロードしてください。正しく表示されるはずです。

### 5. PHP の設定を変更する

インターネット補助教材は UTF-8 エンコードの環境で動作します。そのため、PHP の設定ファイルである「php.ini」で UTF-8 の使用を明記してください。

XAMPP for Windows の標準インストールでは「C:\xampp\php\php.ini」が設定ファイルです。

##### 【php.ini の例】

```
upload_max_filesize="2M" ←アップロードファイル 2MB に制限(任意)
language = "Japanese"
mbstring.internal_encoding = "UTF-8" ← UTF-8 を明記
mbstring.encoding_translation = Off
```

## 6. システムをコピーする

提供された「インターネット補助教材」のプログラムやデータを Apache のドキュメントエリアにコピーします。

### 6-1. ドキュメントルートに ict ディレクトリを作成します。

●Unix 系の場合

```
#cd /var/www/html
#mkdir ict
```

●XAMPP for Windows を標準状態でインストールした場合

```
C:>cd C:\xampp\htdocs\
C:>mkdir ict
```

### 6-2. 作成した ict ディレクトリに CD のデータをコピーします。

```
ict/contents
ict/create
ict/item
ict/simulatoredit
```

ができるはずですが。

## 7. パーミッション設定する (unix 系のみ)

ドキュメントエリアの「ict/item」サブディレクトリのパーミッションを「777」にします。Windows 系では不要です。

## 8. MySQL のデータベースを作成する

インターネット補助教材で使用するデータベースを1つ作成します。

レンタルサーバの場合、サーバの貸し出し会社がデータベース名を指定している場合があります。

XAMPP をインストールした場合、phpMyAdmin を使用して作成してください。データベース名は任意ですが、これ以降の例では、ここで「ict-media」というデータベースを作成したと仮定しています。

「新規データベースを作成する」の下のフィールドに「ict-media」と指定し、「作成」ボタンをクリックします。



作成できたら、下の図のように「データベース ict-media を作成しました」と表示されます。



## 9. インターネット補助教材の MySQL 用設定ファイル修正

”create/mysql\_st.php”に、使用する MySQL の 4 つの情報を指定します。

XAMPP for Windows の標準インストールでは、「C:\xampp\htdocs\ict\create\mysql\_st.php」です。

```

ホスト名 : $inchoost = '〇〇〇';
ユーザー : $incuser = '〇〇〇';
パスワード: $incpassword = '〇〇〇';
データベース名:$incdatabase = '〇〇〇';

```

### 【例】

```

ホスト名 : $inchoost = 'localhost';
ユーザー : $incuser = 'root';
パスワード: $incpassword = 'testpassword';
データベース名:$incdatabase = 'ict-media';

```

## 10. データベースにテーブルを作成

”create/registrant.php”をブラウザで開いてください。これで、データベースに管理用テーブル”registrant”を作成します。

### 【例】

```

http://〇〇〇/ict/create/registrant.php

```

上記の〇〇〇は外部からアクセスするときのサーバ名、もしくは IP アドレスです。  
サーバ機自体のブラウザを使用する場合は

```

http://127.0.0.1/ict/create/registrant.php

```

で実行します。

### ■=■=■= 注意 =■=■=■

「Account Maintenance Service」におけるユーザー名とパスワードを入力してください。

というダイアログボックスが表示されることがあります。これは、「http://(サーバ名)/ict/create/」ディレクトリに対して利用制限が有効になっている場合に表示されます。

利用制限は「BASIC 認証」という方式で行われており、その設定例として「create/.htaccess」ファイルが含まれているためです。ただし、パスワードファイルは添付されていません。システムによってパスワードの暗号化が異なるためです。

もし、この利用制限が不要であれば、「.htaccess」ファイルを削除してください。

## 11. ユーザー登録する

http://○○○/ict/create/index.php にアクセスして新規ユーザーを登録してください。

新規ユーザー登録方法については、別添の利用者登録マニュアルをご覧ください。

ここで指定した「アカウント名」が、インターネット補助教材のアクセス指定に利用されます。

### 【例】

http://127.0.0.1/ict/create/index.php



|         |                 |        |
|---------|-----------------|--------|
| アカウント名  | tyamada         | (半角英数) |
| 管理者名    | 山田太郎            |        |
| ID      | ictyama         | (半角英数) |
| PASS    | ictyama         | (半角英数) |
| メールアドレス | xxx@xxx.xx.jp   | (半角英数) |
| 削除予定日   | 2007 年 7 月 20 日 |        |

### ■=■=■= 注意 =■=■=■

アカウント名, ID, PASS, メールアドレスに利用できる文字は

- ・半角の英小文字
- ・半角の数字

に限られます。英大文字や記号は利用できません(メールアドレスだけ「@」記号が利用できます)。

## 12. インターネット補助教材を利用する場合は

デモンストレーションなどで、インストールしたパソコン本体で補助教材の動作を見る場合はサーバ名として localhost を利用してください。

他のパソコンから利用する場合は、サーバ機の IP アドレスを指定させると DNS 設定をしなくてすむので簡単です。コマンドプロンプトで「ipconfig」コマンドを実行すると、そのパソコンの IP アドレスが表示されます。

サーバ機の IP アドレスが 192.168.0.1 で、前節の「ユーザー登録する」で設定したアカウント名が「tyamada」の

場合は、以下のようになります。

●サーバ機で実行する場合

<http://localhost/ict/item/tyamada/>

●クライアント機からサーバ機を呼び出す場合

<http://192.168.0.1/ict/item/tyamada/>

【クライアント機からサーバ機を呼び出せない場合】

- ・クライアント機からサーバ機に対してコマンドプロンプトで ping コマンドを使用して、インターネット接続が正常に接続できているかどうかを確認して下さい。
- ・サーバ機で IIS が稼動していると、Apache と競合します(同じポート番号80を使用するためです)。この場合は IIS を停止するか、ポート番号を競合しないようにどちらかのポート番号を変更してください。変更した場合は、ブラウザ側で接続相手のポート番号を指定する必要があります。
- ・Fedora Core などの unix 系 OS をご利用の場合、インストール時の設定で Firewall 機能が有効になっている場合があります。この場合、http プロトコルをどのマシンからでも通信できるように設定を変更してみてください。それで、利用できることが判明したら、ご利用環境に合わせて Firewall を設定してください。